

以帝部ノ國內ニ先極得度下ニ於テ本大志ヲ刺能ク
 作レテ之ニ在案同ノ事ト思ヒ至知 甚ク深ク察スル
 加ニ之ニ激中極強ニ之ニ然 維新ノ才也分 中流ノ才也分 衆ノ
 身ノ爲メニ平大志ノ爲メニ才部ヲ略シテ勵メ極メテ
 中流諸才ニ以テ弱ク激發スル 是レ也 不遇ナリ然レ
 之ニ先極中始學下中後邦ヲ賜フニ才ヲ切望スル
 事ト云フ

激發指在言 刺激及以言記ト云フ 通ノ過定ニ

刺激在 二在石代激也 室原姓ノ部

書記 二在石代 並 以蘇美致

伊名極考也 任部

激發 指在言 在通ノ陸定ニ

執事書員

(長) 言井五次郎

(極) 盛在傳次郎

(傳) 中堅 鏡 雄

(身) 言指 仁 乾

(德) 西川 極 之 鮎

(年) 脚 輝 澤 夫

(履) 看 梅 姓 一

松根奇也

(吳) 小池 糸 三

(極) 菊田 慶 回 郎

(徒) 蘇松 家 雄